

金属の未来を変える 防錆密着プライマー



白/グレー/黒

一液型変性エポキシ樹脂
サイクロンスプレー

抜群の密着力

鉄はもちろん、
アルミ、ステンレスなど非鉄金属など
あらゆる金属に密着

最高品質の防錆力

工業用で**防錆力に定評**の高い
一液型変性エポキシ樹脂を採用

上質な仕上げ

上塗り塗料の光沢低(下艶引け)が少く、
美しい仕上げが可能な

適応素材

- ・鉄系
ミガキ/黒革...
- ・非鉄系
アルミ/ステンレス
- ・亜鉛メッキ
電気亜鉛
溶融亜鉛

環境対応

- ・RoHS2.0対応
- ・REACH規制 (SVHC) 対応
- ・TXフリー
(キシレンは不純物として
< 0.1%)
- ・F☆☆☆☆ (S13105) ホ
ルムアルデヒド放散等級

注意事項

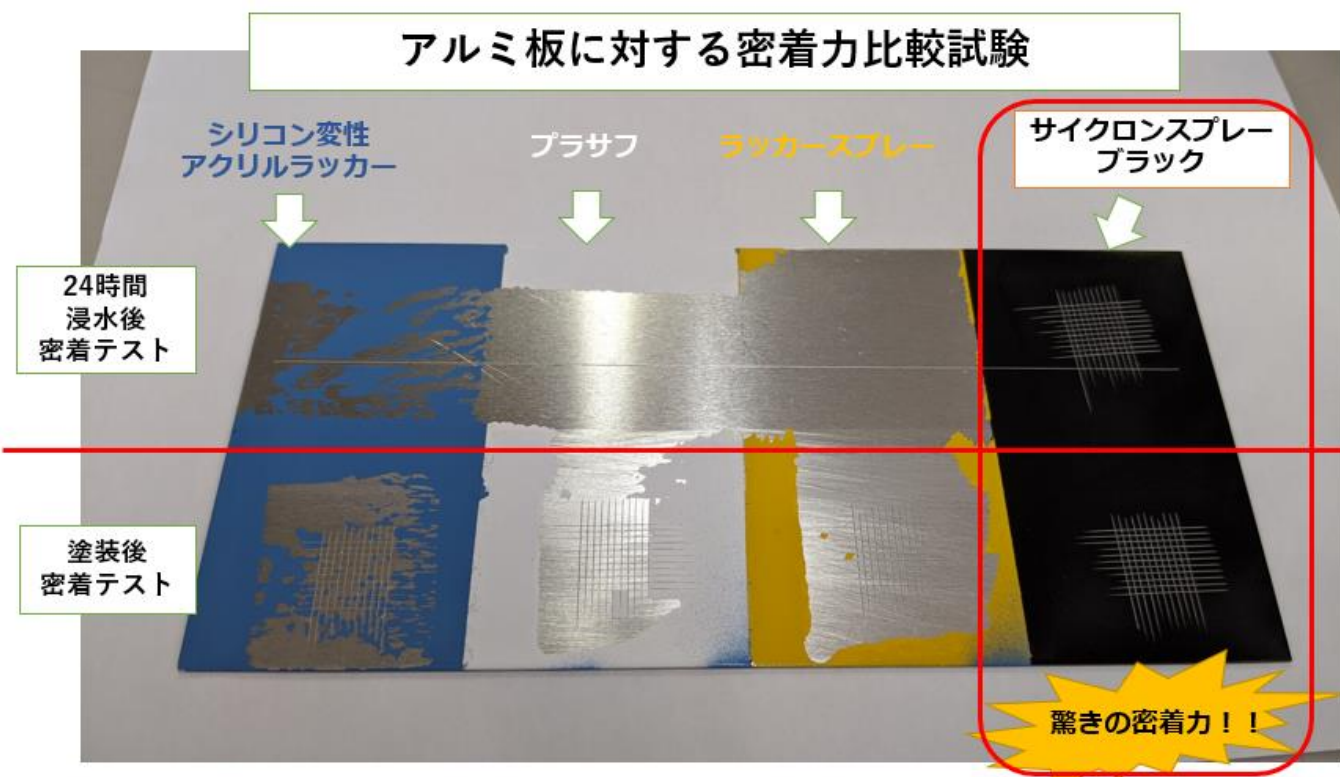
- ・サイクロンスプレーは下塗り
塗料です。トップコートが必要
になります。
- ・サビ、汚れ等はしっかりと落
とした上ご利用ください。
- ・使用方法をお読みの上正しく
ご利用ください。また安全面等
に関する情報はHP上のSDSを参
照ください。

概要

サイクロンスプレーは車、バイク、
パソコンなど幅広い製品に実際に利
用されていた工業用塗料をスプレー
化したプライマー。

クロスバイクのボディから、アルミ
製ホイール、亜鉛鋼板の倉庫のフェ
ンスの塗り替え、ステンレス製家具
のペイントDIYなど...ご家庭でも高い
性能を体感し、プロ仕様の逸品に仕
上げます。

○抜群の密着力



○塗装

アルミ(A5052P)に対して、各種塗料を塗装

○比較試験

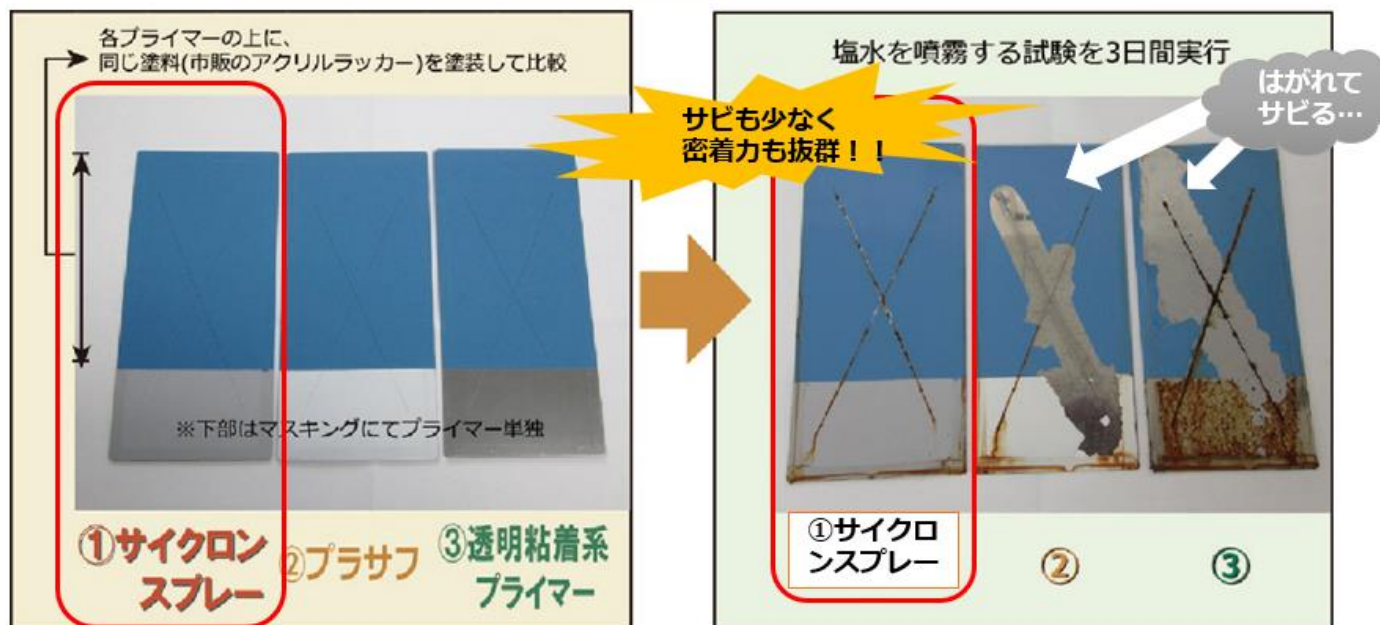
- ①塗装し乾燥確認後一時密着試験(画像下部)
- ②常温水に24時間浸漬、取り出し後に二次密着(画像上部)

○結果

サイクロンスプレーは、密着が難しいアルミ板に対しても高い密着力を発揮し、またより過酷な環境下において、高い防耐水性、密着力を発揮いたします

最高品質の防錆力

塩水環境下での密着と防錆力比較試験



○塗装

3種類のプライマーを 鉄 (SPCC-SB) に塗装、上塗りに市販のアクリルラッカー

○比較試験

JIS規格に対応した塩水を噴霧する試験機に3日間投入し、錆の発生具合を確認。更に塗膜の付着程度を確認する為にセロハンテープを使用して確認した結果

○結果

サイクロンスプレーは、素材にとってより過酷な環境下において、高い防錆力、密着力を発揮いたします

○上質な仕上がり

○サイクロンスプレー単独



○各色上塗り塗装



○塗装

ブリキ板にサイクロンスプレー各色を $15\mu(\pm 2\mu)$ で塗装し、上塗りに2液ウレタン樹脂塗料各色を塗装

○性能

サイクロンスプレーは性能重視の顔料入りプライマーでありながら、トップコート(上塗り)の艶を落としにくい設計になっている為、圧倒的な艶の仕上がり期待できます

○その他性能

ガソリン耐久テスト結果



○塗装

SPCC-SB(ミガキ鋼板)にサイクロンスプレーを $15\mu(\pm 2\mu)$ で塗装

○比較試験

常温乾燥確認後、レギュラーガソリン中に4時間浸漬

○結果

サイクロンスプレーは、ガソリンに浸漬しても塗膜異常は発生せず、高い密着力を発揮いたします。

詳細情報

【用具の手入れ方法】ラッカーうすめ液で洗って下さい。



- 【色】
- ・グレー (N7.5 近似)
 - ・ホワイト **NEW**
 - ・ブラック **NEW**

鉄系 ミガキ、黒皮 etc	非鉄系 アルミ、ステンレス etc	亜鉛メッキ 電気亜鉛 溶融亜鉛
------------------	-------------------------	-----------------------

アルミニウム、ステンレス、(溶融、電気)亜鉛メッキ、真鍮、黒皮等 - 鉄の下塗り用。産業機械や設備及び工具その他金属製品の下塗りとして使用して下さい。
※材質及びその状態によっては付着しない場合がありますので事前に確認して下さい。

【取り扱い上の注意】

- ①子供の手が届かないところに保存し、誤飲、誤食をしないよう注意して下さい。
- ②有機溶剤が含まれているので、塗装中、乾燥中ともに換気をよくして下さい。
- ③取り扱い中は汚れても良い服装で、必要に応じてマスクや手袋を着用し、できるだけ皮膚に触れないようにして下さい。
- ④火気のあるところでは塗らないで下さい。
- ⑤塗料を吹き付けるときは、人や物（観賞魚やペット類、食品など）にかからないように注意して下さい。
- ⑥5℃以下のときや雨天、湿気の高いとき（85%以上）は塗装しないで下さい。

【特徴】

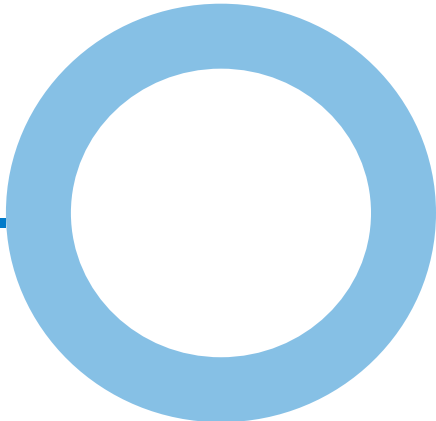
- *業務用で定評のある変性エポキシ樹脂塗料の性能を持ったエアゾールをやっと作る事が出来ました。今まで塗装器具を持ち込めなかった居室等での使用も可能です。
- *防錆、耐水性能等考慮された顔料入りの為、クリアー Type に無い性能を有しています。
- *薄膜で使用可能にもかかわらず、上塗りを塗装しても艶を落としません。
- *自然乾燥をベースとしていますが、焼付乾燥も使用可能です。
- *各種上塗り塗料が可能（硝化綿ラッカーの場合は確認して下さい）

【使用方法】

- ①塗る面のゴミ、油分、さび、カビ、ワックス、水等をとりす。さびはサンドペーパー等で取り除いて下さい。
- ②塗る面以外はマスキングテープや新聞紙等であらかじめカバーして下さい。
- ③使用前、缶を十分に振り、カラカラと音がしてから 30 回以上振り続けて下さい。使用中もときどき振り動かして下さい。
- ④容器を逆にした状態では吹付できません。
- ⑤塗料を吹き付けるとき、塗る面と噴出口の間は、15 ～ 25cm の間隔をとって下さい。
- ⑥目立たない部分で試塗りをし、色、噴射状態、乾燥性、下地への影響（古い塗膜に塗る場合）、付着性、などをよく調べて異常がないか確かめてから塗って下さい。
- ⑦一度に厚塗りをしないで、塗る面と並行に移動しながら、うすめにまんべんなく 2 回ぐらい塗り重ねて下さい。塗り重ねた総膜厚が標準塗装膜厚 15μm 程度になる様に塗装して下さい。
- ⑧被塗物が乾燥している事を確認してから塗装して下さい。
- ⑨使用後は、噴出口がつまらないように容器を逆にして 2 秒くらい空吹きし、噴出口をよく吹いてからキャップをします。

【保管・廃棄】

- 残った塗料はきちんとキャップをし、直射日光を避けて保存して下さい。
- ②缶のさびを防ぐために、水回りや湿気の多い場所には置かないで下さい。
- ③車の中、暖房器具や火花のでる周辺には置かないで下さい。
- ④やむを得ず中身の塗料を捨てるときは、火気のない屋外で、新聞紙などに広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。
- ⑤容器を処分するときは、中のガスと塗料を充分に抜き、プラスチックとスチールに分別して処分して下さい。（各地方自治体の処理方法に従うこと）



詳細情報



【標準塗装膜厚】

* 15 ～ 30μm （推奨膜厚は 15μm）

【標準塗装面積】

* 0.8 ～ 1.6 m²
(一度に多量に塗布するとタレの原因になります。)

【乾燥】

* 自然乾燥

指触乾燥 (夏) 20 分 (冬) 40 分

半硬化 (夏) 40 分 (冬) 2 時間

※塗り重ねる場合は 40 分以上おいて下さい。

* 焼付乾燥

焼付温度 140℃～ ×20 分

wet on wet 可

【上塗り適合性】

< 常温乾燥型 >

* アルキッド樹脂塗料

* アクリルラッカー

* 2 液型ウレタン樹脂塗料

< 焼付型 >

* メラミン樹脂塗料

* アクリル樹脂塗料

・塗料によっては付着しない場合があります。事前に確認してご使用下さい。
・上塗り乾燥後の再塗装時には「チヂミ」発生の無い事を確認してからご使用下さい。

【消防法】

* 第四類 第二石油類

* 危険等級 III

【環境対応】

* RoHS 規制対応

* F☆☆☆☆ (S13105)

* REACH 規制 (SVHC) 対応

この商品はプライマーの为上塗りが必要です！

●自然乾燥 性能（参考データ）

サイクロンスプレー PRO FACE グレー（変性エポキシ樹脂塗料）

乾燥時間 1 週間						
上塗り	25 μ					
下塗り	15 μ					
	SPCC-SB	SS400	電気亜鉛	溶融亜鉛	A5052P	SUS304
鉛筆硬度	2H	---	---	---	---	---
一次密着	100/100	100/100	100/100	100/100	100/100	100/100
耐衝撃性	30	30	25	30	45	40
耐水性	100/100	100/100	100/100	100/100	100/100	100/100

※同系統品

参考 社外品	
34 μ	
30 μ	
SPCC-SB	A5052P
H	---
85/100	80/100
5 ↓	10
ブリスター 全面剥離	ブリスター 全面剥離

SPCC-SB = 鉄、SS400 = 鉄 (黒皮)、A5052P = アルミ、SUS304 = ステンレス、(電気、溶融) 亜鉛 = 鉄の周りに亜鉛メッキ処理した物
耐水性 40℃水 1 週間浸漬 他詳細条件はホームページを参照して下さい。

使用上の注意

- 1) 本製品はプライマーです。必ず上塗り(トップコート)をご使用下さい。
- 2) 各種上塗り可能ですが、目立たない部分で試してからご使用下さい。※相性に関して情報がある場合は HP 上で提供して行きます。
- 3) 屋内で使用する場合は、十分な換気を行って下さい。
- 4) 取扱は表面及びラベルの「使用方法」等を良く読みご使用下さい。また安全面等に関する詳細は SDS を参照して下さい。

